

 Garoon

導 入 事 例

interview for

大日本土木株式会社様



## 人事異動による組織情報の更新作業コストを 1/3 に軽減 15 年使った Notes をわずか半年足らずでガルーンに移行

1924（大正 13）年に岐阜県で創業し、90 年以上の歴史を持つ大日本土木（だいにっぽんどぼく）株式会社（以下、大日本土木）は、数々の国土復興事業をはじめ上下水道やダム、トンネルなどの土木事業、公共施設などの建築事業を手がけている中堅ゼネコンだ。土木・建築とも海外案件を多く手がけ、特に ODA（政府開発援助）案件では業界トップクラスの実績を持つ。

岐阜の本店を中心に国内に 23、海外に 5 の拠点を持つ大日本土木では、長らくスケジュール共有や掲示板を運用するグループウェアに「Notes」を利用してきた。Notes 導入から 15 年が経過し、次回サポート更新のタイミングを控えて老朽化したシステムの見直しを検討。2015 年に「サイボウズ ガルーン（以下、ガルーン）」の導入を決定。今回、検討から導入、導入後の効果まで Notes マイグレーションを実施した手応えを管理本部の里見氏、則近氏、西尾氏、中井氏に伺った。



### 導入前の課題 全社フラットで見渡せない予定や掲示板の 検索コストと管理運用の属人化

「約 15 年前に導入した Notes には移行検討時で 120 個の Notes DB がありました。スケジュール機能だけで数えても支店毎に 15DB、さらに役員だけが集まる DB もありました。ユーザーは、スケジュールを調整するときには各スケジュール DB を開き、空き時間の調整を電子メールで行っていて、スケジュール調整ひとつにも時間がかかっている状況でした。」  
執行役員 里見氏

スケジュール調整以外にも、Notes 運用ではいくつかの課題が上がっていた。大きく分けるとアプリケー

ションの使い勝手により発生している非効率な業務オペレーションの問題と管理運用面でのコスト対効果の 2 つだ。

#### 課題 1

##### 縦割り、横割りで複数存在する同じ用途の DB

スケジュール、ファイル管理、掲示板といった情報を登録する DB が組織毎に存在。情報の登録場所を都度判断する必要があり、DB をまたいだ横断検索が出来ないので情報を探しにくい。

## 課題 2

### 管理・運用の属人化とコスト対効果

Notes の構築担当者でなければメンテナンスが難しいケースが発生。

数年毎に実施するバージョンアップでは、ハード・ソフト・保守および非互換による修正を含めて多額の費用が発生し、そのコストに見合った経営および業務課題へのフィードバックが期待できなかった。

2 つの大きな課題を抱え、大日本土木は Notes の次回更新の時期を視野に入れ 2015 年の年頭に、別製品への移行に向かって動き出した。



里見 唯志氏

執行役員 管理本部 管理部長

## 導入の決めて ユーザー目線での使い勝手の良さと グループウェア・業務アプリケーションの 両データの移行が実現

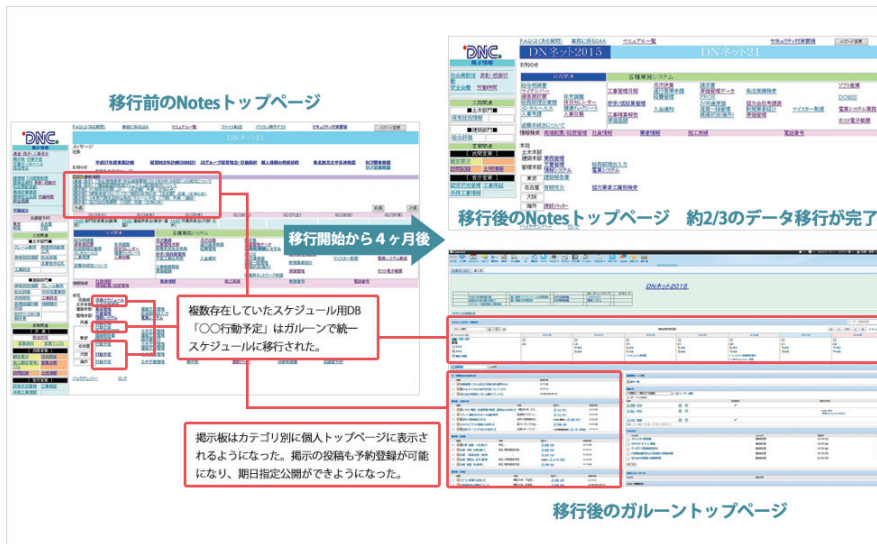
大日本土木では、移行先製品として「ガルーン」を含む 4 製品を比較検討した。スケジュールや掲示板といったグループウェア機能以外に、基幹システムと連携したデータベース（受注情報・工事状況報告等）の業務用アプリケーションも移行できることが移行条件だった。

「ガルーンと同時にデヂエも導入することで業務アプリケーションとなっている DB も移行できることが決め手になりました。あとは、ユーザーにとって使いやすさを実感できる製品かどうか。使いやすさの点で特に評価したのは、スケジュールの操作性。あと、掲示板やファイル管理の通知機能と検索機能です。」管理本部 西尾氏



西尾 泰彦氏

管理本部 管理部 情報課長



移行前と移行開始4ヶ月後のNotesトップページ。まだNotesとGaloonを併用稼働しているが、Notesで支店毎に存在していた行動予定(スケジュール)はGaloonでひとつに統一されたり、Notes側のデータベースが2/3程度になっている

## 導入の効果 人事異動による組織情報更新にかかる時間を1/3に短縮。グループウェア内の情報検索も快適に

「Galoon」への移行にはこれまでに4ヶ月程の時間をかけた。社内決裁をとってからハードとソフトの購入を進める間に、Notesから移行するデータの棚卸を行い、移行マトリクスを作って関係者と移行の有無や移行の時期を決めていった。

データの移行プランが決まったら、移行先である「Galoon」および「デジエ」の環境構築を行った、一部のデータ移行にはAPIを使った移行ツールの開発が必要だったため、開発期間も含めて2ヶ月程かけてデータを移行した。段階的に進め、移行前には必ずユーザーに対して事前アナウンスを実施し、

移行先「Galoon」での操作に迷わないようにとマニュアルも自作した。

移行による効果はあらゆる場面で実感できた。

「ユーザーからは『とにかくスケジュールの調整が楽になった』という声が圧倒的です。複数支店のメンバーで予定調整をするときにも空き時間の確認から会議室の予約までひとつのオペレーションで完結できる。従来のやり方と比べると大幅に効率化されています。」管理本部 西尾氏

項目	データベース名	作成日	実行頻度	主幹部署	提示先	アクセス	移行先	移行時期	備考	DN#021	過去日
1	通信-指針-人事発令	2003/4/1	○	人事部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150607
2	2 伝呼帳	2001/3/3	○	1 全店総務	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
3	3 行事予定	2001/5/7	×	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		×	20150629
4	4 文書データベース	2001/3/7	○	1 全店総務	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
5	5 印刷帳	2001/3/7	○	1 全店総務	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
6	6 諸帳簿	2008/4/1	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
7	7 伝呼帳	2003/1/15	×	1 全店総務	●	●	Galoon	2015/1/21		×	20150629
8	8 委員会資料	2009/12/27	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
9	9 手帳簿状	2007/6/7	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
10	10 社会貢献	2010/1/23	○	3 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
11	11 業務改善推進	2003/9/24	○	3 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
12	12 環境安全品質	2001/3/30	○	1 環境安全品質	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
13	13 安全成績	2001/3/30	○	1 環境安全品質	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
14	14 労働組合	2001/5/7	○	1 労働組合	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20151221
15	15 会議室/設備予約(雑用)	2001/4/3	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
16	16 会議室/設備予約(客用)	2001/4/3	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
17	17 会議室/設備予約(大)	2001/4/3	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
18	18 会議室/設備予約(東)	2001/6/4	○	1 総務部	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20150629
19	19 印刷-印刷上	2006/1/14	○	3 印刷室	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20151221
20	20 高度技術開発工	2011/6/15	○	1 土木技術	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20151221
21	21 保有技術情報(土木)	2008/3/2	○	3 土木技術	●	●	Galoon	2015/1/21		○	20151221

データベース毎に移行の有無、移行先と移行時期を各主管部署と棚卸した

「電子メールには添付ファイルに 20MB の容量制限がありました。社員同士の連絡手段も電子メールが中心だったので、ファイルサーバーにファイルをアップしてから電子メールで連絡する。という手間が発生していましたが、ガルーンにしてからは「メッセージ」を使って 20MB 以上でもひとつのメッセージ内でやり取りできるので重宝しています。」管理部 則近氏

※大日本土木ではメッセージの添付可能な 1 ファイルのサイズを 50MB に設定している。



則近 肇氏

管理本部 管理部 企画課長

■ 掲示板(ルート) > 通達・指示・人事発令 > 指示 > 掲示の詳細

★ 20151221\_「マイナンバー(個人番号)」の取扱いについて<管本(総-人)指27-014号>

📄 変更する 🔄 移動する 📎 添付ファイル一覧 ♻️ 再利用する 📊 閲覧状況 (504/785) 📄 ファイルに出力する

<< 前へ | 次へ >>

カテゴリ : 指示  
差出人 : 👤 西尾 2015年12月21日(月) 10:54  
最終更新者 : 👤 西尾 2015年12月21日(月) 10:55  
掲示期間 : 2015年12月21日(月) 12:00 ~ 2018年12月31日(月)

管本(総-人)指27-014号  
平成27年12月21日

各位  
管理本部 総務部

「マイナンバー(個人番号)」の取扱いについて

平成28年1月よりマイナンバー制度がはじまります。マイナンバーとは、住民票を有する全ての国民一人一人に付与され、社会保障、税、災害対策といった分野で活用される個人番号のことです。

すでに多くの方のお手元には簡易書留にてその個人番号をお知らせする「通知カード」が届いていると思います。個人番号(マイナンバー)は一生使うものです。漏洩して、不正に使われる恐れがある場合を除いて、番号は一生変更されませんので、大切に保管して下さい。

また、平成28年1月以降、会社が行なう源泉徴収に関する事務および社会保険関係事務で皆さまやご家族様のマイナンバーが必要となります。税や社会保険の決められた書類にマイナンバーを記載することは法令で定められた義務となっておりますので、皆さまやご家族様の個人番号を届け出てください。届出の日程および方法を、次のとおり予定しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

なお、マイナンバー制度の概要等について別紙にまとめましたので、ご参考ください。

移行後のガルーンでは掲示板の予約投稿や期間指定掲示の活用で掲示の運用が効率的になった

「運用管理の面では、組織変更の反映時間が随分と早くなりました。案件単位での組織変更も頻繁に発生するのですが、Notes の場合 1 名の異動情報でも全データ分を更新する必要があったので、専用ツールで情報処理に 1 時間半くらいかかってい

ました。ガルーンは 1 名単位で修正できるのがいいですね。まとまった異動更新でも、読込用の Excel 作業と合わせても 20 分くらいで済みます。」管理本部 西尾氏

スムーズに進行したように見えるデータ移行に苦労はなかったのだろうか。

「デジエにデータを移行する際、CSVデータの編集が必要になり、自作アプリの開発により対処しました。このあたりはパッケージ製品なのでカスタマイズという点で Notes に劣ると感じる部分はあります。一度理解して構築してしまえば運用に問題ないが、製品改良に期待しています。」

管理部 中井氏



## 中井 雅樹氏

管理本部 管理部 情報グループ 担当課長

登録 省略 展開

**受注一覧**

店	区分1	区分2	発注者名	工事名	評点	完成年度	竣工日	技術	VE
大阪	地方	大阪市	〇〇〇(株)	路	80.0	27	130318	○	
東京	中央	品川区	〇〇〇局	□□工事	90.0	27	160101	○	
名古屋	地方	その他	△△△市	国道〇号線・・	80.0	27	151228		
神奈川	地方	横浜市	(株)〇〇〇	平成〇年度・・	79.0	27	151228		
福岡	中央	福岡市	〇〇事務所	□□工事	79.0	27	151228		
東京	地方	多摩市	〇〇市	□□ホール	79.0	27	151228	○	

Notes DBで作成していた案件一覧のイメージ再現図



レコードを登録する 検索 記録決定

CSVファイルに書き出す レコードを一括編集する レコードを一括削除する (その他の操作)メニューにまとめる

※ 優良工事

絞り込みレコード数:261 絞り込 [2016年4月] レコード一覧ビュー [一覧] 集計 [発注区分別] 集計する

先頭へ | << 前の100件へ | 次の100件へ >>

	店	区分	発注者名	工事略号	工種	工事名	評点	完成年度	竣工日	技術提案	VE提案	低
[編集] [削除]	大阪	大阪市	〇〇〇(株)	〇〇T	トンネル	□□道路	80.0	27	2016/3/18	有		無
[編集] [削除]	東京	品川区	〇〇〇局	〇〇S	上水	□□工事	90.0	27	2016/1/1	有		無
[編集] [削除]	名古屋	その他	△△△市	〇〇〇	道路	国道〇号線・・	80.0	27	2015/12/28	無		
[編集] [削除]	神奈川	横浜市	(株)〇〇〇	市〇〇	駅	平成〇年度・・	79.0	27	2015/12/28	無		無
[編集] [削除]	福岡	福岡市	〇〇事務所	〇〇	道路	□□工事	79.0	27	2015/12/28	無		無
[編集] [削除]	東京	多摩市	〇〇市	〇ホール	建物	□□ホール	79.0	27	2015/12/28	有		無

Notes DBで作成していた案件一覧をデジエに移行  
高い再現性でDBの移行に成功。罫線や条件指定で見やすくなった

## 業務アプリケーションの完全移行へ向け、 タイムリミットはあと2年

「ガルーン」の利用開始から約半年が経過し、段階的に進めてきた Notes からの移行も 2/3 程度終了した。Notes の利用猶予期間終了まであと 2 年。この 2 年間のうちに移行は全て完了させる計画だ。「エンドユーザーの利用浸透も早く使い勝手も満足している。今後は、業務アプリケーションの移行が中心になるので、利用中のデジエのほかに、kintone の評価も始めたい。」管理本部 西尾氏  
日本と世界に多数の拠点を持ち、800 名超の従業

員に対して情報システムを担当する情報グループメンバーは 3 名。長年使い続けた Notes から「ガルーン」への移行がスムーズに進んだ裏には、西尾氏をはじめとした情報グループメンバーによる綿密な計画、きめ細やかなユーザーフォローがあった。これからも、ユーザーから信頼の厚い情報グループとして日本と世界を舞台に活躍する大日本土木を陰ながら支えていくことだろう。